

国際情勢認識と日本外交の展望

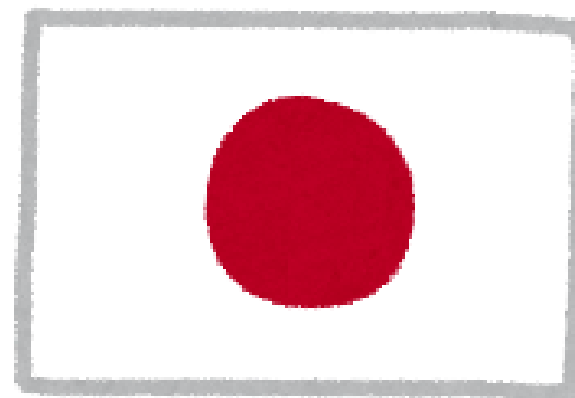
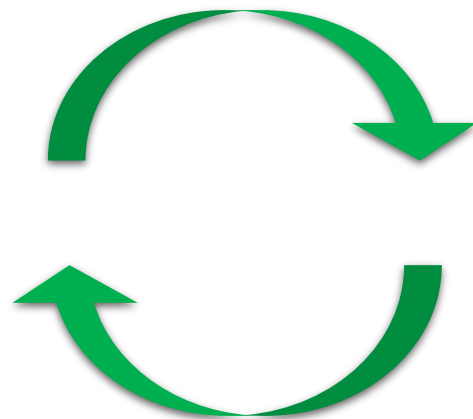
～世界を分断から協調へ導く～

目次

1. 国際情勢の認識：今、世界で何が起きているのか
2. 日本外交の展望：それを受けて、日本はどのような外交を展開するのか



今、世界で何が起きているのか



日本はどのような外交を展開するのか

1. 国際情勢の認識

今、世界で何が起きているのか

1-1. 「歴史の転換点」にある国際社会

冷戦の終結

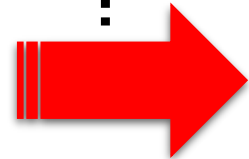


冷戦後の世界の動き

- 安定した国際秩序のもと、国家間の格差が全体として縮まる ↔ 十分に恩恵を受けられない国々の存在、先進国内での格差の拡大
- 新興国・途上国の成長 → 発言力の増大、これまでの国際秩序に対する不満も
- 科学技術の急激な発達 → サイバーセキュリティや偽情報対策など、守るべき対象の幅が広がった
- 地球規模の課題は深刻化
→ 国や地域の協調が不可欠

変化や対立は経験しつつも、皆がルールを守って国際的な秩序を保つ努力をしてきた

ところが…



ロシアによるウクライナ侵略
(2022年～)



1-1. 「歴史の転換点」にある国際社会

ロシアによるウクライナ侵略の意味

- 世界の平和・安全を守る責任を与えられている大国の1つが重大なルール違反を犯し、力で一方的に他の国を侵略
= 冷戦後、国際社会が協力して守ってきたものへの挑戦



さらに…

- イスラエル・パレスチナ情勢の悪化
→ どのような立場をとるのかで、国際社会の対立関係は複雑に
- 新興国・途上国の成長
→ こうした国の影響力が増し、先進国が作ってきた秩序への不満も



歴史の転換点

これまでの秩序が脅かされていることが、誰の目にも明らかになっている

1-2. 日本外交が直面する主な課題

- ① これまでの国際秩序に対する挑戦
- ② 国家間の力のバランスの変化
- ③ 世界とつながる経済
- ④ 地球規模の課題、科学技術がもたらす課題

1-2. 日本外交が直面する主な課題

① これまでの国際秩序に対する挑戦

- **2022年2月、ロシアによるウクライナ侵略の開始**

- 国際秩序の根幹を揺るがす暴挙。
- ロシアによるウクライナの一部地域の違法な「併合」や民間人に対する攻撃は国際法違反であり、断じて正当化できない。
- 唯一の戦争被爆国として、ロシアによる核の威嚇は断じて受け入れられず、ましてやその使用はあってはならない。

→ 国際社会が長きにわたる努力と多くの犠牲の上に築き上げてきた国際秩序の根幹を揺るがす

1-2. 日本外交が直面する主な課題

一層厳しさを増す東アジアの安全保障環境

北朝鮮

弾道ミサイルの発射等、
核・ミサイル活動が進展

中国

広範かつ急速に軍事力を増強、
日本の周りで軍事活動を拡大・活発化



ロシア

ウクライナ侵略だけでなく、
日本周辺でも活発な軍事活動



日本の位置する地域は、
安全とは言えないね・・・

1-2. 日本外交が直面する主な課題

一層厳しさを増す東アジアの安全保障環境

- ヨーロッパの状況は、インド太平洋地域の平和・安全ともつながっている

世界のどこかでルール破りが成功してしまえば、「破っていいんだ」と他の地域の安全もゆらぎかねない

中露共同飛行・航行

中国爆撃機及び情報収集機



ロシア爆撃機



写真提供：統合幕僚監部ホームページ

1-2. 日本外交が直面する主な課題

② 国家間の力のバランスの変化

- **存在感を増す新興国・途上国（「グローバル・サウス」とも呼ばれる）**
 - 冷戦後の安定的な秩序のもと、多くの開発途上国が経済発展
 - 発言力・影響力が増大
- こうした国々の置かれている状況は様々で、利害や意見も異なる

重要なのは…

**価値観や利害の対立を乗り越える姿勢
相手の国が真に必要なとする協力を実現するきめ細かな対応**



出典：インド政府外務省公式サイト

1-2. 日本外交が直面する主な課題

② 国家間の力のバランスの変化

- 国連など、多国間での取り組みは試練の時

→ 国連の安全保障理事会が、ウクライナや中東情勢への対応に有効に機能しているとは言えず、「安保理改革」が必要

国際連合とは？

第二次世界大戦の終結後、人々が二度と戦争で苦しむことがないように作られた国際機関。なかでも**安全保障理事会は世界平和を守る主役の機関**とされており、限られたメンバーのみ参加できる。発足から80年近くが経ち、現在の国際社会の姿を適切に反映できていない部分も。

写真提供：UN photo



安全保障理事会

米・英・仏・
中・露のうち
一国でも反対
すると議決が
できない

1-2. 日本外交が直面する主な課題

③ 世界とつながる経済

「グローバル化」とは？

ヒト・モノ・カネの国境を越えた移動が活発になるとともに、貿易を通じた商品・サービスの取引や海外への投資が増えることによって、世界における経済的な結びつきが深まること。



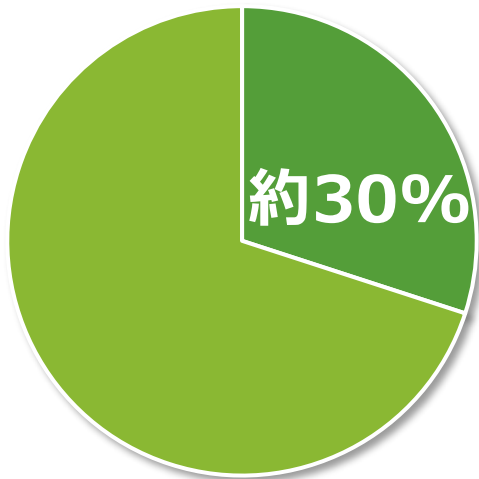
→ **成長や繁栄というプラスの側面のみならず、脅威をももたらし得る**

- 紛争や感染症で輸入が途絶えると、食料・エネルギー不足になる可能性
- 知的財産や技術が盗まれる可能性

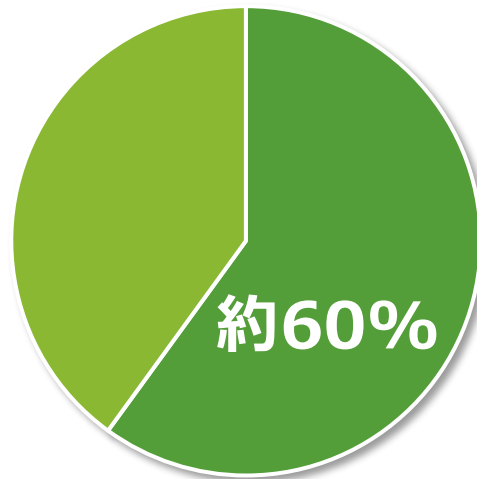
1-2. 日本外交が直面する主な課題

③ 世界とつながる経済

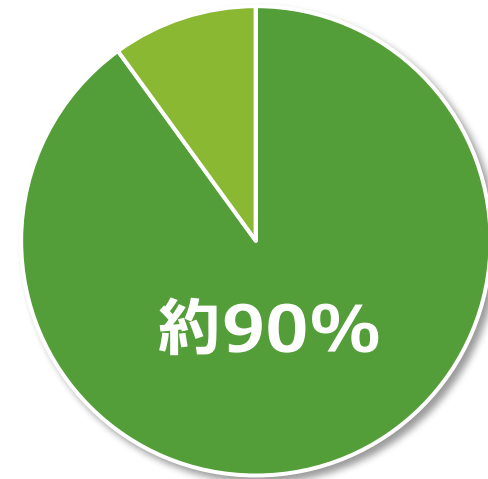
クイズ：日本はエネルギーをどのくらい輸入に頼っている？



A.



B.

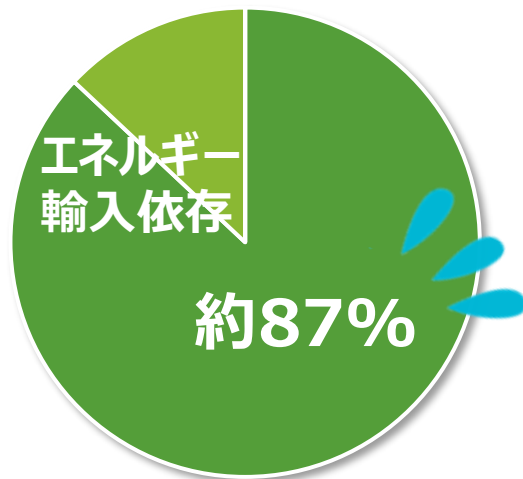


C.

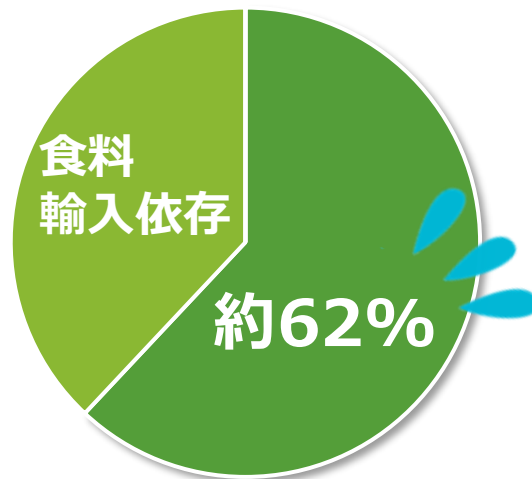
1-2. 日本外交が直面する主な課題

③ 世界とつながる経済

- 日本は食料やエネルギーの大半を輸入に頼っている！



2021年度
出典：資源エネルギー庁
「総合エネルギー統計」



令和5年度
(総合食糧自給率：カロリーベース)
出典：農林水産省

ロシアのウクライナ侵略など、
様々な原因が影響し、あらゆる
品物が値上げ



→ 世界の出来事が、国民ひとりひとりの生活にも大きな影響を及ぼす！

1-2. 日本外交が直面する主な課題

④ 地球規模の課題、科学技術がもたらす課題



人類共通の地球規模課題の解決には、

国境を越えた協力や科学技術・イノベーションの適切な管理と積極的な活用が不可欠

2. 日本外交の展望

以上の国際情勢を受け、日本はどのような外交を展開するのか

2-1. 日本外交の基本方針

「歴史の転換点」にある国際社会



「人間の尊厳」という最も根源的な価値を中心に据え、
世界を分断から協調へ導く外交を展開する

写真提供：内閣広報室



なぜ今「人間の尊厳」なのか？

国際社会があらゆる危機に直面し、多数の国や地域で合意をすることが難しくなっている今、日本は、人類全体に共通する言葉として「人間の尊厳」＝人間の命や尊厳を大切にすることに光を当てて、国際社会が体制や価値観の違いを乗り越えられると考えている。

2-2. 日本外交の取り組み

- ① 法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序の維持・強化
- ② 国の安全を守るための対応
- ③ 経済外交
- ④ 人類共通の課題への対応

1-2. 国際社会が直面する主要な課題

- ① これまでの国際秩序に対する挑戦
- ② 国家間の力のバランスの変化がもたらす課題
- ③ 世界とつながる経済がもたらす課題
- ④ 地球規模の課題、科学技術がもたらす課題

2-2. 日本外交の取り組み

① 法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序の維持・強化

- 既存の国際秩序が重大な挑戦にさらされるなか、平和を守るための手段として「**法の支配**」を重視

法の支配とは？

全ての権力に対する法の優越を認める考え方。国内において公正で公平な社会にとって不可欠な基礎であると同時に、友好で平等な国家間関係から成る国際秩序の基盤となる。



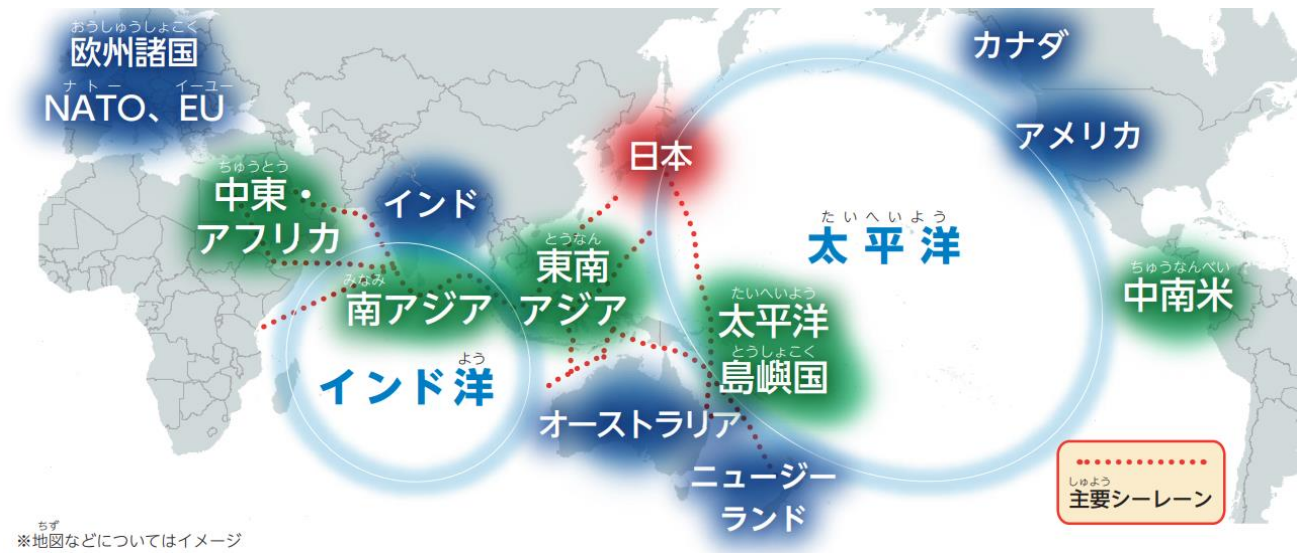
わかりやすく言えば、ルールを守ろう！という国際的な雰囲気をつくること。
例えば「他人のものは取らない」というルールがあって、それを誰かが破ったら他のみんなも真似をして、力づくの奪い合い状態になりかねない。
ルールを誰も破らないからこそみんな仲良くなる、とすることができるね。

2-2. 日本外交の取り組み

① 法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序の維持・強化

「自由で開かれたインド太平洋（FOIP）」

- 成長著しいアジア・潜在力あふれるアフリカの「二つの大陸」と、貿易などに欠かせない「二つの海洋」の交わり
→ 世界の安定と繁栄のカギ！
- 「ルールを守ることの大切さ」などの考え方を共有している国々で力を合わせて地域全体の平和・安全を守る



出典：はじめての防衛白書2024

2-2. 日本外交の取り組み

② 国の安全を守るための対応

- 日本が自分自身を守る力を強くする

- 外交を通じて日本の領土・領空・領海や国民の財産・生命を守る
- 軍等が資機材購入やインフラ整備などを行うための資金を供与するしくみ（政府安全保障能力強化支援：OSA）を実施

写真提供：内閣広報室

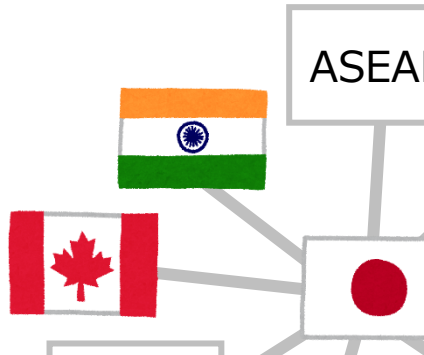


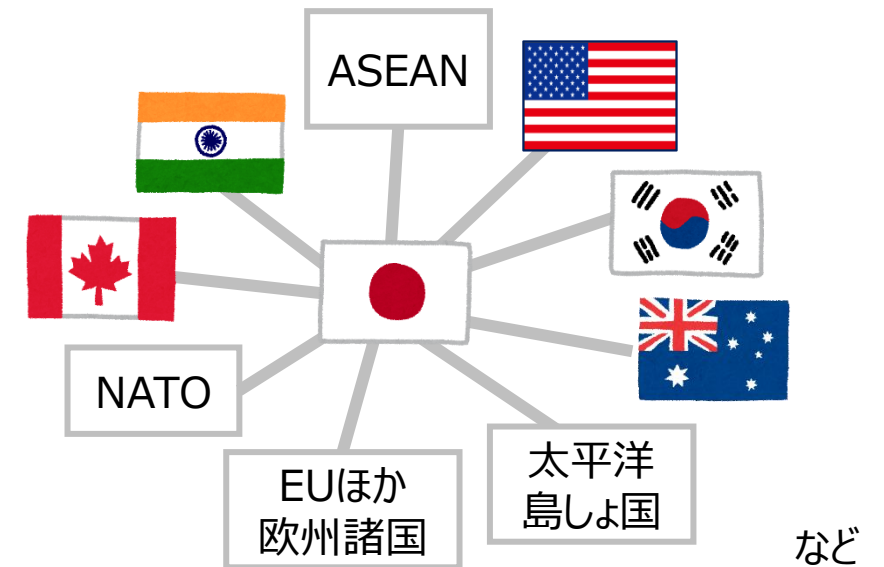
OSAが、なぜ国の安全を守ることにつながるの？

日本周辺の安全を脅かす動きが広がる中、日本は自分だけでなく周りの国の防衛力を高めることにも協力する必要があります。OSAによって、他国の軍の能力を強化する協力も可能になったことは、インド・太平洋地域全体の平和を守る力を強めることにつながります。

2-2. 日本外交の取り組み

② 国の安全を守るための対応

- **日米同盟を一層強化する**
 - 米国は唯一の日本の同盟国であり、日米同盟は日本の外交・安全保障の基礎。
 - 外交や防衛のみならず、経済等での結びつきを強めていく。
 - **アメリカのみならず、「日本と協力できる仲間」との重層的なネットワークを強くしていく。**
- 
- A diagram illustrating Japan's network of partners. A central box containing a red circle (the Japanese flag) is connected by lines to three other boxes: one with the Canadian flag, one with the Indian flag, and one labeled 'ASEAN'.



2-2. 日本外交の取り組み

③ 経済外交

- **ルールに基づく自由で公正な貿易を、維持・拡大へと導く**
 - WTOを中核とする多角的貿易体制の維持・強化



WTOとは、各国が自由にモノ・サービスなどの貿易ができるようにするためのルールを決め、貿易に関する障壁を削減・撤廃するため、加盟国間で交渉を行っている国際機関のこと。

- **「経済安全保障」への対応**

- 他の国々と協力して経済分野の取組を通じて、日本の平和と安全や経済的な繁栄を確保する。

経済分野の取組

重要な物資の
安定供給の確保

重要な技術の
保護・促進

ルールに基づく
経済秩序を推進

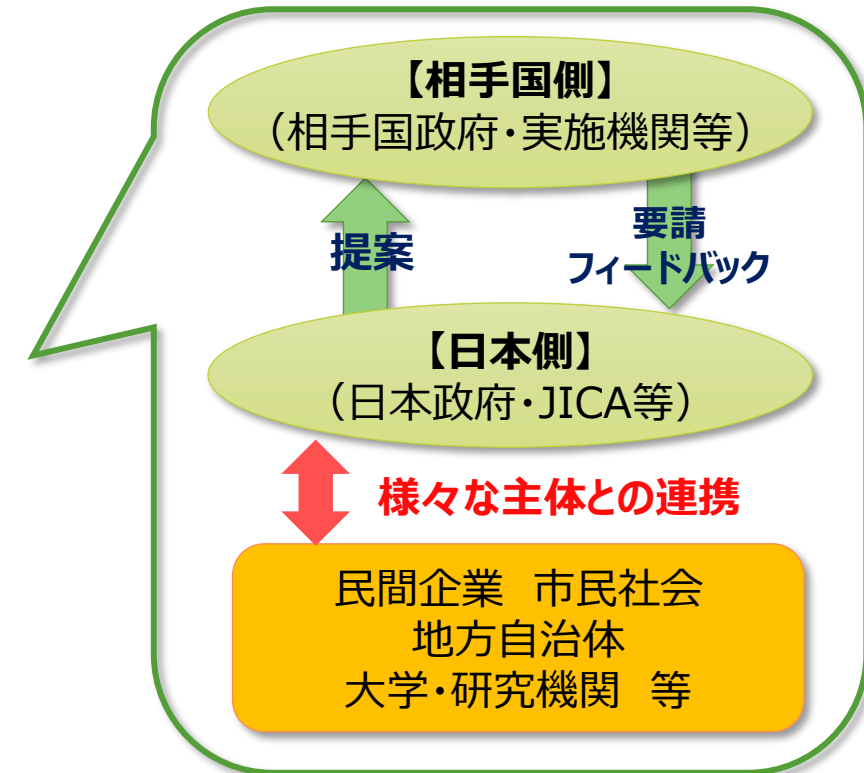
2-2. 日本外交の取り組み

③ 経済外交

- 日本の強みを活かしつつ、相手国にとっても魅力的な支援を提案する「オファー型協力」や、民間資金を巻き込んだODAなどを通じ、民間企業を含む様々な主体とよく連携しながら開発協力を実施
- 多様化する「グローバル・サウス」の意向
→ **国・地域ごとの課題や特性を踏まえた、きめ細かで戦略的な経済外交**

ODA（政府開発援助）とは？

政府が行う国際協力活動のうち、開発途上国の経済や福祉の発展を助けるために行うもの。
豊かな国が貧しい国を助けるという理由だけでなく、日本の食料やエネルギーの安定的な確保、日本の企業が海外でビジネスをしやすくなるなどのメリットもある。



2-2. 日本外交の取り組み

◎ 日本と近隣諸国との関係・対話

韓国：

- 様々な課題の対応に協力していくべき重要な隣国、緊密に意思疎通
- パートナーとして新しい時代を切り拓く
- 竹島については毅然と対応



写真提供：内閣広報室

中国：

- 尖閣諸島を含む日本周辺で力又は威圧による一方的な現状変更の試み
- 懸念や課題は数多く存在するが、対話を重ね、主張すべきは主張しつつ、共通の課題においては協力

ロシア：

- 日露関係は厳しい状況にあるが、政府として北方領土問題を解決し、平和条約を締結することを目指す

日中韓：サミット開催。未来に向けて実務的な協力を進める。



写真提供：内閣広報室

2-2. 日本外交の取り組み

◎ 日本と世界各地域との関係・対話

アフリカ：

人口増加中、これからのダイナミックな成長が期待できる。**アフリカ開発会議(TICAD)**などを通じ、共に課題に取り組む。



中南米：国際的にも存在感を増し、価値や原則を共有する重要なパートナー。世界最多の日系人が存在するほか、資源・エネルギー・食料が豊富で、経済的にも重要。**アジア太平洋経済協力(APEC)**や**G20**の枠組みでも日本と連携。

南西アジア：

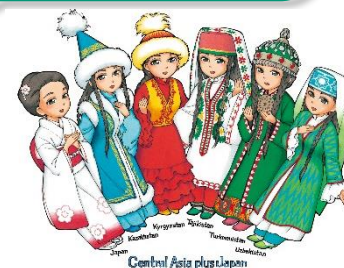
インドは**FOIP**実現に向けた重要なパートナー。南西アジア各国は伝統的な親日国であり、日本企業に魅力的な市場・生産拠点。

中東：

原油輸入の9割を依存、エネルギーの安定確保のためにも極めて重要。**日・アラブ政治対話**や**日・GCC外相会合**で連携強化。

中央アジア・コーカサス：

ロシアのウクライナ侵略の影響を大きく受けている。「**中央アジア+日本**」対話などで協力を推進。



太平洋島しょ国：

価値と原則を共有するパートナーとして、戦略的に非常に重要。**太平洋・島サミット(PALM)**を開催。



東南アジア：

インド太平洋の要であるASEANの安定と繁栄は地域全体にとって重要。**日ASEAN友好協力**は2023年で50周年を迎えた。



2-2. 日本外交の取り組み

④ 人類共通の課題への対応

- 地球規模課題の解決のため、**国連が本来の役割を果たすことが重要**
→ **「人間の安全保障」**の理念に基づく**人間中心の国際協力**を主導する



「人間の安全保障」とは？

人間の一人ひとりに着目し、人々が恐怖や欠乏から免れ、尊厳を持って生きることができるよう、個人の保護と能力強化を通じて国・社会づくりを進めるという考え方。

2-2. 日本外交の取り組み

④ 人類共通の課題への対応

- 人類で一致して地球規模課題に取り組んでいく

気候変動・
環境

食料

国際保健

女性・平和・
安全保障

テロ・国際組
織犯罪など

女性・平和・安全保障（WPS）とは？

紛争や武力衝突などによって被害を受ける女性や女児の保護や救済に
取り組みつつ、女性自身がリーダーシップを発揮して紛争の予防や復興・平和
構築に関わっていくことで、より持続的な平和に近づくことができるという考え方。



2-2. 日本外交の取り組み

④ 人類共通の課題への対応

- **核軍縮・不拡散へのコミットメント（G7広島サミット）**

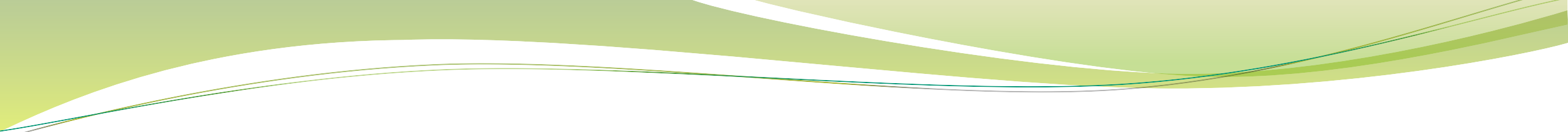
→ 「核兵器のない世界」の実現に向け、核軍縮に関する初めてのG7首脳独立文書となる「核軍縮に関するG7首脳広島ビジョン」を公表

- **人権外交**

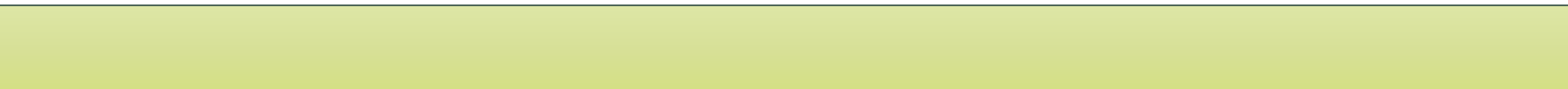
→ 深刻な人権侵害に対してははっきりと声を上げる、各国の自主的な取り組みを後押しし、日本らしい人権外交を進めていく

写真提供：内閣広報室





まとめ



まとめ

- 今、国際社会は**歴史の転換点**にある
 - ロシアのウクライナ侵略、イスラエル・パレスチナをめぐる複雑な対立、新興国・途上国の台頭、地球規模課題の深刻化など
- そのなかで、日本は「**人間の尊厳**」を大切にしつつ、分断から**協調へと世界を導く外交**を行っていく

